

北米社会福祉セミナー2000参加レポート

## 自由・公正の国の自由な福祉サービス



Writing: Hisakazu Kato

最初、私たちを迎えてくれたのは木部と鉄骨がうまく組み合わさった、しゃれた感じで温かみのある建物だった。日本の場合、「防火または準防火構造」であればよいが、補助対象となる建物の基準や補助額の関係で、ほとんどの福祉施設が鉄筋コンクリートづくりになっている。鉄筋コンクリートは建物としてはグレードが高いが、どうしても柔らかさや温かみを演出する

●ワシントン市を中心に毎年2000人を超える知的障害者をサポート

メルウッドは1963年から37年間にわたり発達障害者のサポート活動をしている社会福祉法人のしにせだ。「ともに育つ」をスローガンに地域福祉のための多様なサービスシステムを構築している。

2000年11月に、全国社会福祉協議会経営協主催の北米セミナーに参加し、カナダ、アメリカ合衆国の福祉サービスを見学した。アメリカの福祉システムは現在、日本の社会福祉制度としても、また名東福祉会としても、目標となるシステムだ。今回の視察でその意識はさらに強まることになった。講義や視察した団体は老人福祉から権利擁護団体に至るまで非常に多岐にわたり、スケジューリングにきわめて過密な視察であった。今回はそのなかから、知的障害者支援法人のメルウッド(MELWOOD)を紹介したいと思います。

Washington, DC

California - DISNEYLAND

Delaware - BETHANY BEACH

Florida - DISNEY WORLD

Georgia - NASHVILLE

Illinois - CHICAGO

Indiana - INDIANAPOLIS

Iowa - DES MOINES

Kansas - WICHITA

Michigan - DETROIT

Minnesota - MINNEAPOLIS

Missouri - ST. LOUIS

Nebraska - OMAHA

Nevada - LAS VEGAS

New York - NEW YORK CITY

North Carolina - RALEIGH

Ohio - CLEVELAND

Oklahoma - OKLAHOMA CITY

Pennsylvania - PHILADELPHIA, LANCASTER, HERSHEY

Rhode Island - PROVIDENCE

Tennessee - MEMPHIS

Texas - DALLAS

Virginia AND MARYLAND - VALENTIERSBURG, ROCKVILLE, BALTIMORE, LAUREL, BELTSVILLE, QUEENSBELT, ROWIE, LARGO, DAVIDSONVILLE, UPPER MARLBORO, TEMPEE HILLS, WILMINGTON, WASHINGTON, DC

Washington, DC

Wisconsin - MILWAUKEE

Wyoming - CHEYENNE

International Partners: EGYPT, BRAZIL, JAPAN, AUSTRALIA

Melwood Sites Legend:

- Melwood Corporate Headquarters
- Melwood Operations, Administration & Training Site
- Contract Work Site
- Melwood Residence
- Camp, Recreation & Retreat Center
- Travel Destination

メルウッドが実施しているサービスを図式化したもの。ワシントンDC市内に職業拠点が多く設置され、郊外に25ヶ所のグループホームがあることがわかる。

ことが苦手だ。

メルウッドは、メイランド州、バージニア州、コロンビア州にまたがって、職業教育、雇用、コミュニティリビング、レジャー、旅行サービスを知的障害者に対して提供している。

### ●メルウッドのミッション

アメリカ・カナダの視察をしていて、訪問先で必ず聞く言葉があった。それは「ミッションだ。日本流に言えば使命、もしくは理念ということになる。メルウッドのミッションは、「個々の才能と個人的な目標に応じて、最大の効果、最大の到達点、最大の機会を提供すること」となっている。

メルウッドでは、福祉サービスの利用者を「消費者(Consumer)」と呼ぶ。もちろんこれはアメリカでは一般的な呼び名ではない。他の見学先ではお客様(Customer)とか、顧客(Client)とかいろいろな呼び方をしていたから、アメリカ全体で、どういふ呼び方をするのかという決まりがあるわけではない。しかし、いざこれにせよ、福祉サービスを供給する側と、それを「買う」側の力関係がよく現れている。

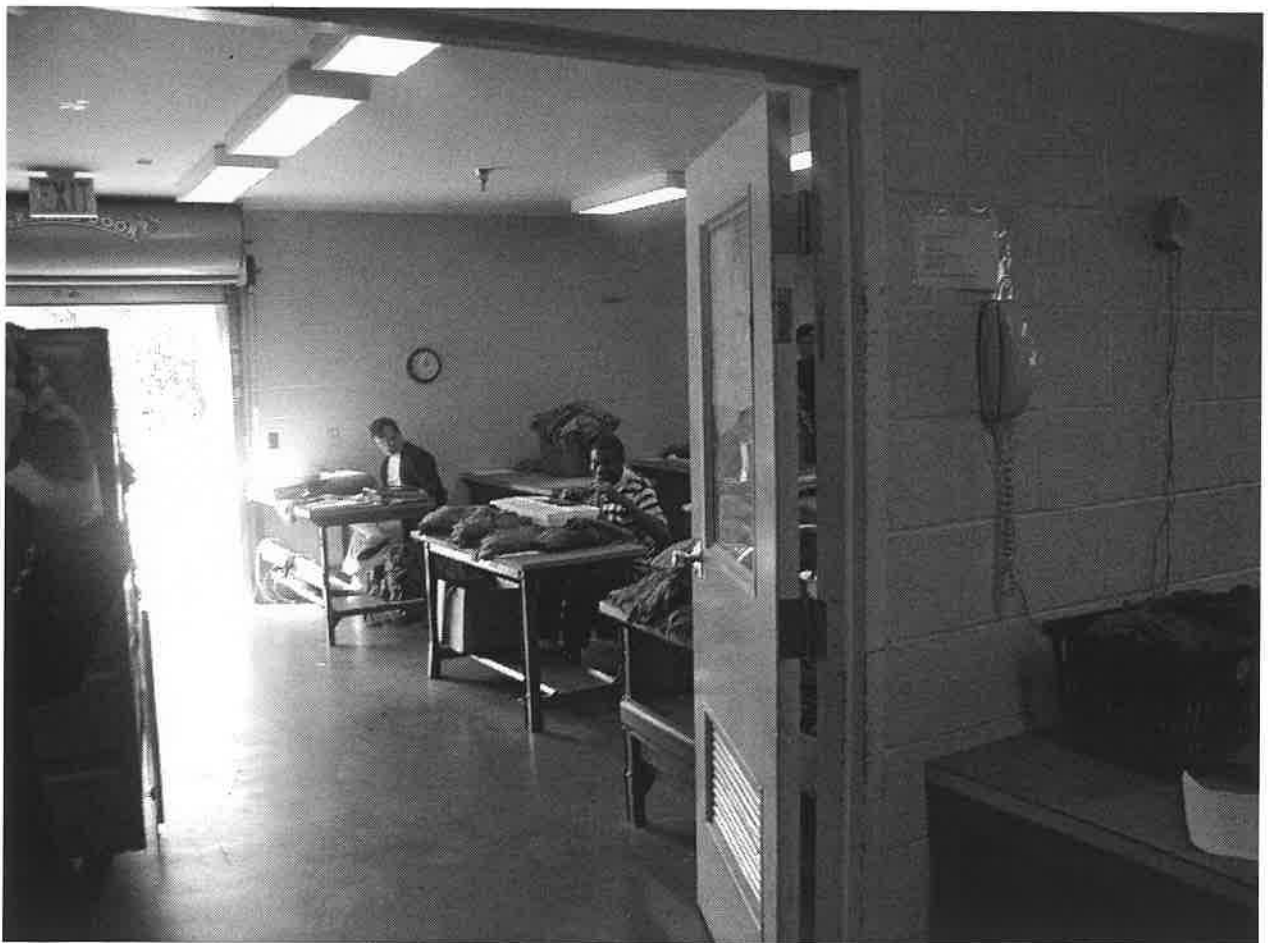
### 生活支援サービス

メルウッドはワシントンDC郊外にグループホームを25ヶ所運営している。中には個人住宅を所有している知的障害者もいる。いわゆる日本式の入所施設はない。専門家のマネジメントチームが全ホームを維持管理している。

各ホームは利用している人たちの好みに合わせてかざりつけられている。定期的なメンテナンスも欠かしていない。メルウッドのホームは近隣の家の中でもひととき魅力的な家にさえなっている。

スタッフについて触れておこう。スタッフは知的障害の分野で高い経験を積んだ人を配置している。支援の質を高めるために知的障害者の行動修正理論に精通した人、経営学に精通した人、2人の登録看護婦、ヘルスサービスマネージャーを配置している。直接処遇にあたる職員は継続的な訓練を受け、常に技能を高めている。

メルウッドの地域生活支援で特筆すべきことは、地域社会の行事に参加する活動を非常に重視していることだ。地域のコーラスグループ、地域スポーツ、教会活動などに積極的





法人本部の敷地にあった温室。メルウッドは温室栽培の仕事を地域でたくさん行っている

に参加している。また、週末にもなれば、地域の近所の人々がホームを訪れ、ホームの人といろいろな話をするそうである。

メイトウ・ワークスでも名東区勢子坊の行事に積極的に参加しているが、ソフトボールクラブ活動までは参加していない。というのもメイトウ・ワークスは通所施設で、休日や夜間は利用者はそれぞれ生活地域へ帰っていつてしまふからだ。名東福祉会で生活施設を設置した場合には、もちろんこういういった地域社会のイベントや各種の活動には積極的に参加していきたいものだ。

### 個別サポートサービス

地域社会に生活する知的障害者に対して、彼らの生活している家庭で様々な支援を行っている。アメリカにしてもカナダにしても、日本と違って18才を過ぎれば独立することがあたりまえの社会であるため、「成人の知的障害者に対する家庭サービス」というときには日本とはずいぶんニュアンスが異なってくる。

・家を見つけるための支援

・知的障害を持った人が父親や母親であった場合の教育活動

・医療ケアのためのアシスト

・地域のレクリエーションへの参加

・危機的状況に対する支援とフォローアップ

・独立して生活するための訓練

・公的サービスの手続き支援

・金銭管理の支援

一方、子ども(22才以下)に対するサービスは日本と同様だ。

・子どものケアについての財政的な支援

・ケースマネジメント

・車椅子や社会適用のための訓練器具などを購入する場合の補助

・サマーキャンプ、メルウッドでの週末レスパイト

このように、日本では福祉事務所が行うような仕事をメルウッドが行っている。日本では公的な機関がこれを行っているのだが、将来はどんな民間にこれらの仕事を出していくような改革が必要なのだろう。

### 職業支援

メルウッドでは、職業訓練には3

20人のスタッフが従事している。サポート付雇用が強力に進められているからだ。メルウッドの本部には、これから就職しようとしている知的障害者の人たちが職場で求められる技能について授業形式で説明を受けていたのが印象的だった。

知的障害者の場合、職業支援はジョブコーチによる企業内のサポート・ティッドエンプロイメントが中心だ。しかし、職種としてはp1の図を見てもわかるように、ワシントン市内に非常にたくさんさんのジョブサイトを持っている。ただ、就労している職業の分野にはある程度かたよりがある。温室栽培の仕事、公園の清掃・建物のメンテナンスや管理作業、リサイクル作業などに従事している人が85%になる。

### ダイアクティブティ

メルウッドの法人統括本部には、本部事務局の建物のほかに、園芸作業や軽作業ができる作業棟が設置されている。メルウッドに到着するなり、私たちは、敷地内の作業棟を案内された。

作業の内容や具体的な支援方法は、わが名東福祉会の各施設で行っている

る作業と比較して際立って優れているわけではない。むしろ、どこでも見られるような平凡ともいえる作業だった。

ウエスを洗浄、積み重ねて出荷する作業、実用新案の新型松葉杖の組立作業、簡単な軽作業など、ディアクティビティとしてはよくある作業内容になっている。しかし、だからといってメルウッドのサービスがたいしたものではないというわけではない。特筆すべきは、利用者にはディアクティビティからサポーターティッドエンプロイメント、一般就労まで含め、広範な選択肢があり、いつでもチャレンジでき、失敗したらやり直しができるといふことだ。このことを忘れて、作業内容そのものを評価することはできない。

### レクリエーションサービス

メルウッドのスタッフと話をしていて、彼らが最もエキサイトして私たちに伝えてくれたのはレクリエーションサービスだった。この分野は今後、もつともつと伸ばしていきたい分野であるという。

日本にもメルウッドの消費者が旅行に来たことがある。彼らは日本の本人の会と交流し、たいへんよい時

間を持ったそうだ。そのときのビデオを見せてもらったが、ほんとうに日本は面白かったようだ。メルウッドでは、後述するように中古車を寄付してもらってそれを転売し、資金を得ている。その資金がメルウッドを利用する人たちのレクリエーション活動に当てられているそうだ。

### インターシップの受け入れ

メルウッドでは、日本からのインターシップを常時受け入れている。見学した当日も、日本からの留学生がメルウッドで研修を受けていた。彼女は大阪出身で、これまで一般企業に就職していたそうだ。メルウッドの研修を受けた後、日本に帰って社会福祉施設に就職をしたいそうだ。メルウッドは、理念と実践が世界的に広がっていくことを目標としているため、そのような活動に積極的にかかわっているという。

### ●独自の資金獲得術

メルウッドはテレビコマーシャルを出している。テレビコマーシャルは30秒から1分ほどの長さだが、この中で、メルウッドのスローガン「ともに成長する」が紹介される。メ

## WIN-WIN-WIN

### MELWOOD VEHICLE DONATION PROGRAM

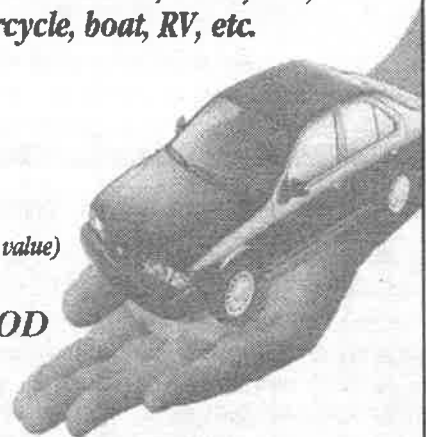
*Donate your used car, truck, van,  
motorcycle, boat, RV, etc.*

- ★ Help people with mental retardation.
- ★ Free Towing!
- ★ Tax Deduction!  
(up to full blue book value)

1-877-MELWOOD

**Melwood**  
Growing Together

Serving people with mental retardation and other disabilities in your community since 1963 in job training, employment, residential and recreational services.



中古車の寄付をつのるポスター  
日本では積極的な資金獲得  
活動も自由にできない。

ルウッドの福祉サービス活動がテンポよく紹介され、コマースシャルの最後に「中古車の寄付」が呼びかけられるというものだ。

福祉サービスの質を高めるためには、独自の資金を獲得する必要がある。メルウッドでは、就労支援や生活支援プログラムに必要な資金を中古車を寄付してもらいそれを販売することで獲得している。

アメリカでは寄付をすると、簡単な手続きで税金をある程度控除することができる。それで多くの人がこのような福祉団体に寄付をしている。クリントン大統領は自分がはいていた下着まで寄付したというジョークがあるくらい、アメリカ人はなんでも寄付をする。日本でも社会福祉法人に寄付を行うと所得税を控除することができるが、手続きはアメリカほど簡単ではない。寄付をする人が増えるように制度を改革することが望まれる。

### ●やむを得ない

アメリカは自由・公正を旗印にしている国だ。その意識はサービスにおいて、いたるところに浸透している。現在、わが国の福祉制度では知的障害者の権利擁護という視点

から大きな意識改革がおこりつつある。一方、日本においても今後、小さな政府、規制緩和、公正な競争へのシフトが起こり、徐々に制度も変わっていくに違いない。この10年は失われた10年といわれ、10年前に起こらなければならなかったことがやっと今実現しようとしている。この記事も10年前ならば奇想天外な記事であったが、今や実現目標としては常識的な範囲として読者には映っていることだろう。

平成15年からは知的障害の分野も大改革が起こる。一般企業も参入する気配を見せている。この変革がたいへんであるのか、チャンスであるのかは、私たちのチャレンジ精神次第だ。



「アメリカは非常に治安が悪い国だ。かばんを絶対手放さない。町を無目的に一人歩きしない。犯罪に巻き込まれたら巻き込まれる方が悪いと考えなければならぬ。」

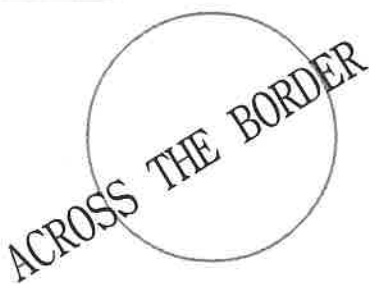
と、何度も教えられて行つたアメリカ。だから僕は街を歩くときはとても緊張した。

アメリカについて2日目。ちよつとした自由時間ができたので、本屋に買い物に出かけることにした。ホテルから出ると、ちよつどそこは工事中で薄暗く、アーケードになっていて、人がやつとすれ違えるくらいの道幅となっていた。ちよつと不安を抱いて歩き始めると、前からアフリカ系アメリカ人がやつてきた。ここで弱みを見せてはいけないと思い、ほくは精一杯胸をはってキツと前を見つめ足早に歩いていった。

10メートル、5メートル、2メートル。相手との距離は縮まる。後1メートルになったとき、相手は手にもつていた荷物をギョツと胸に抱えこみ、さも僕に荷物を採られないように身構えた!

恥ずかしかった。自分は危ない東洋人に思われてしまったのだ。変な先入観にしばられて、型どおりのスタイルでいることが返って危ないし、自分が緊張することが相手をもっと緊張させることもあるんだということを学んだ。それ以来、僕は人とすれ違うときにはへんに力をいれないことにした。

アメリカは、いろんな価値観の人がいるんな言語でいっしょに生活している。日本のように以心伝心ということはまったくない。でも考えてみれば私たちが住むこの日本でも、ほんとうは、コミュニケーションしてみなければ、相手には何もつたわらないはずだ。「知的障害の人は鋭い」「知的障害の人は素直だ」「知的障害の人は心が美しい」そんな紋切り型の考え方がコミュニケーションの幅を狭くしてしまう。わかつていたつもりなんだけれども……。



## 第18回 やきものまつり



矢吹 由美恵

November 12/2000

at MEITO WORKS

Report: Ymie Yabuki

去る11月12日(日)、メイトワークスにおいて「やきものまつり」が開催されました。今年の11月は天気が不安定。施設全体が息を詰めて見守る中、週間天気予報は刻々と変わり、雨マークがどんどん当日に近づいていきます。とうとう当日。

「やったー！雨降ってない！」

でも、寒い日になりそうです。思えば3年前、私が実行委員長だったときも寒かった。私って風の子？しかし、そんな中、利用者さんもボランティアさんもどんどん集まって来ています。慌ただしくも予定どおり、「やきものまつり」がスタート。お客さんも入っているし、まずまずか。11時から「やきものまつり」初の企画「利用者さんのダンス公演」が予定されており、どきどきそわそわです。

2000年4月から始まったクラブ活動。その中で、歌やダンスの練習を積み重ねてきた「音楽ダンス班」の方たちが、いよいよ今日晴れの舞台を迎えるのです。曲目は「ミッキーマウスマーチ」に「恋のダンスサイト」。頭にはミッキーの耳もつけてみんなノリノ

り。この日参加してくださったバンド「日本茶」のかたがたの演奏も入って、本格的なステージになりました。

午後には天気もすっかり良くなり、暖かな陽気に包まれました。そんな中、特に熱かったのがジュース売り場。売り子を担当した利用者さんたちが声もかれんばかりに呼び込みます。

「いらつしやいませー、ジュースいかがですかあ！」

こんなに生き生きと売り場に参加してくれるなんて……。予想以上の盛り上がり、職員もお母様方も驚くばかりでした。

長くて短い一日は、いよいよ片付けで終わりです。今回は、片付けにご協力いただいたボランティアさん方の手が届かすばりしかなかった！数多くの Tent も机も備品も、ものの30分で片付けられてしまいました。

また、初めて取り入れたゴミステーション制も、混乱することなく大成功。参加された全てのスタッフやお客さんの意識の高さとマナーの良さを実

感しました。いろいろ細かい改善点も見受けられましたが、利用者さんやお客さん、そしてボランティアさんにご近所の方々、皆さんが楽しく過ごせるのが一番。特にご近所の方々には、当日音楽やアナウンスなどでご迷惑をお掛けしたにも関わらず、苦情ひとつなくまつりを開催させていただき、本当に感謝しております。

今回の「やきものまつり」のテーマのひとつである「利用者参加」の一環として、利用者の皆さんには本当によくご協力いただきました。当日、貴重なお休みをメイトワークスのために割いて下さったボランティアの皆さん、毎年、快く寄贈品を取っておいで下さる方々、何日間も休みなしで準備に没頭して下さった家族会の皆さんなど、思い起こせばキリがないくらいです。

こんなにも多くの力で成功することができた「やきものまつり」。その実行委員長をさせていただいて、本当に良かったと思っています。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。



## 何を食べるべきか

栄養学は警告する

講談社文庫 780円



## 書籍紹介

丸元 淑生著

和食は世界一の健康食と言われてきた。しかし、近年、日本の食は、急速に欧米化し、脂肪からの摂取エネルギーに関して、今やアメリカを抜いて今や世界最悪の状態になってしまったといわれている。この書籍はわれわれが何を食べるべきかの選択を示している書籍である。

施設における食のサービスは生活支援の中でも最も重要なサービスだ。それだけに、これまで、嗜好を調査し好みを把握し、選択メニューを提案してきた。

確かにそれまでのように画一的な食から抜け出すことはできたが、その一方で、知的障害を持つ人が地域生活を送る上で、健康を維持するために望ましい食生活を実現するためのストラテジーとは何か、健康的な食の選択行動を支援する方法とは何かといった問いについてどれだけ検討を加えてきたのだろうか。

そのような文献はまだ日本にはほとんどないが、これまでの嗜好一辺倒の食の選択から、健康で質の高い生活の実現に向けた食選択の行動形成に向けて、はじめの一步となる書籍といえる。

# BUSINESS NEWS

2000年 名東福祉社会事業報告

- 07/25 名東福祉社会後援会総会
- 09/02 名東福祉社会合同運動会
- 09/07 中央馬主協会視察
- 09/29 施設建設予定地寄贈者への感謝状贈呈
- 10/16 名東福祉社会理事会・評議員会
- 11/10 中央馬首協会贈呈式  
(天白ワークス改修工事補助金)
- 11/12 やきものまつり

## 寄贈者名簿

ご寄付ありがとうございました。

深見純子様	水野様	市丸様
松尾フミエ様	石橋様	山田様
林本隆様	水野様	岡田様
向井さとみ様	岩瀬様	太田友子様
原恵子様	前川様	房前様
山本和美様	寺西様	森川正様
長決孝行様	北川様	松浦友香様
笹井様	平田様	伊坂様
広田様	高橋様	坪井和子様
ゆとり炉様	近藤様	福谷さつき様
阿部友香様	熊谷様	伊藤いさ子様
田中朋子様	ステイ様	山本様
山下信子様	ステイ平野様	片瀬和彦様
富崎照彦様	渡辺静夫様	岩田松子様
清家理子様	林様	橋本様
加藤様	笹尾様	加藤百世様
小崎様	加藤様	中村俊子様
仁波様	小塩様	鹿嶋美保子様
竹田様	小田様	山本様
浦上様	伊藤様	山田様
斉藤様	向井様	村瀬様
三井様	鈴木様	尾関様
寒川様	谷田様	杉本百合子様
春藤様	西淵朋美様	山田麻知代様
宮川様	加藤英男様	伊藤様
栗田まさ子様	前川勝様	酒井隆行様
松本久子様	山田様	山本紀代美様
和泉朋子様	石橋様	林しげよ様
坂下様	後藤様	時野様
増田様	村瀬様	佐藤久男様
小玉寿計様	酒井様	藤田日出子様
畑中裕子様	小林様	松浦宏紀様
千葉みどり様	杉山様	川西様
北川様	弘田様	小森晃様

青島様	三田村様	林様
川村様	藤森様	森英美様
湯浅様	南橋様	大石富士子様
則武様	細田好江様	吉田愛子様
加藤忠義様	大坪多江子様	竹内まみ様
萩巢様	加藤茂子様	澤久美子様
坂野はる子様	滝澤秀雄様	杉江契以子様
渡辺様	崎山道子様	伊藤様
小林様	木前様	山中昭子様
吉川様	青山京子様	

## 編集室

アメリカの社会福祉サービスを見ると、これはちょっとやそつとでは追いつくことができないというのが率直な感想である。

アメリカを視察してエンパワーメントということばがいろいろな分野で使われていることに気づく。コミュニティのエンパワーメント、女性のエンパワーメント、知的障害者のエンパワーメント…。エンパワーとは何かに力を与えることを意味し、特に法律の分野でよく使われる。例えば「ADAは、障害者をエンパワーする」というように。日本の場合、障害者に普通の生活をしてもらおう（ノーマライゼーション）といっているのとは対照的だ。

私たちは入所施設の建設用地を確保し、いよいよ入所更生施設をつくる。この施設はノーマライゼーションを超えて、利用者のエンパワーメントに資する施設をめざしたい。(久)

後援会費郵便払込番号 0880-8-9556  
社会福祉法人名東福祉社会メイトウ・ワークス  
(通常払込料金加入者負担)

## 社会福祉法人 名東福祉会

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303  
メイトウ・ワークス

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303  
TEL 052(702)2863 FAX 052(701)2079

## 天白ワークス

〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327  
TEL 052(704)7751 FAX 052(704)7552

## デイケア はまなす

〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911  
TEL 052(704)7551 FAX 052(704)7552

## こいけホーム

〒465-0047 名古屋市名東区小池町 468-1  
TEL 052(777)8385 FAX 052(777)8385